

# 会 議 録

第8回定例会

開会 平成24年8月7日

## 教育委員会会議録

1 開 会 平成24年8月7日 午前10時00分

2 閉 会 平成24年8月7日 午前11時22分

3 出席委員

委員長	佐藤 紘子
委員	水口 艶子
委員	西池 氏裕
委員	筒井 直典
委員	西 泰宏
委員(教育長)	佐野 義行

4 出席者

副 教 育 長	原内 司
教 育 次 長	尾崎 好秋
施 設 整 備 課 長	藤林 弘茂
教 職 員 課 長	松山 隆博
教 育 総 務 課 長	東端 久和
教 育 総 務 課 副 課 長	藪下 武史

[開 会]

委員長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

委員長 配布されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

委員長 会議録を承認する旨を告げる。

[議 事]

委員長 報告事項2を非公開として差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

委員長 そのように取り計らうこととし、議事に入ることを告げる。

《報告事項1 平成24年度公立学校施設の耐震改修状況調査結果について》

委員長 報告を求める。

施設整備課長 調査結果の概要等を報告する。

〈質 疑〉

筒井委員：市町村によって耐震化率のバラツキがみられる。県はどのように考えているか。

施設整備課長：それぞれの市町村の財政状況にもよると思われるが、現在は、地震特措法により国の補助率の嵩上げや、率の良い地方債の適用など、地方負担が少なくなるようになっている。県においては、市町村振興資金貸付金による無利子貸付と、教育委員会はこの償還金に対する70%の補助金制度を設けている。また、町村では建築技術を持った職員がいない場合があるので、知事部局で技術的な支援を行っている。

西池委員：市町村のワースト3は海辺で災害が心配される地域だが、耐震化率100%になるのはいつか。

施設整備課長：県はH27年度末に100%を目指しており、市町村においても同じ時期と考えている。また、小松島市は昨年度33%が今年度は58%まで改善、牟岐町も現在取り組んでいる工事が完了すれば100%、鳴門市も今年度は複数学校の工事をする予定で、鋭意努力されている。

西池委員：耐震化率とは学校毎に算出するのか。

施設整備課長：対象は二階建て以上又は200㎡以上の建物であり、棟毎に算出する。

西池委員：私立学校の耐震化率についても、後日報告していただきたい。

水口委員：学校の中でも生徒が一番長い時間を過ごす教室が一番大事だと思うが、工事は市町村で優先度を決めて行っているということか。学校側の意見は聞いているのか。

施設整備課長：県立の状況については、例えば教室を使いながら工事をしたり、大規模な場合は教室を移動してもらったりと状況に応じて工事を行っている。また、教室を優先し、特別棟はその次としており、工事は学校側の意見を聞きながら行っている。市町村においても、学校側の意見を聞きながら優先度を決めて順次進めているものと考えている。

委員長：県立は平成27年度末に耐震化率100%とのことだが、耐震化の進んでいない市町村も平成27年度までには完成できるよう県からもアドバイスをしていくようお願いしたい。

委員長 報告事項1を了承する旨を告げる。

[非公開]

《報告事項2 平成25年度徳島県公立学校教員採用候補者選考審査第1次審査について》

(非公開につき、議事の内容については省略)

[閉会]

委員長 本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉会 午前11時22分